

「住民向けシェルター整備検討」弾道ミサイル攻撃想定 官房長官

11/24(木) 12:42 配信

松野博一官房長官は24日午前の記者会見で、弾道ミサイル攻撃を受けた際に住民が避難できるシェルターの整備について「自衛隊施設の地下化等の取り組みとともに、国民保護のために何ができるのか、新たな国家安全保障戦略等を策定する中で検討している」と述べた。

松野氏はさらに「核攻撃等により苛酷な攻撃を想定した施設については、北朝鮮の情勢等を鑑みれば現実的に対策を講じる必要があり、一定期間滞在可能な施設とする場合に必要な機能や課題について検討を進めている」と述べた。【村尾哲】